

**平田 康夫氏(KDDI 研究所) アメリカ モントレーにて
AIAA Aerospace Communications Award を受賞**

22nd AIAA ICSSCが5月9日～12日アメリカ カリフォルニア州のモントレーにて開催され、その会場にて日本の平田康夫氏(KDDI研究所 代表取締役会長)が栄誉ある”Aerospace Communications Award”を受賞されました。心より御祝い申し上げます。

今回の賞は、同氏のデジタル移動体衛星通信システムの開発および関連主要技術の研究についての貢献とリーダーシップに対して授与されました。KDDI 研究所(当時)ではデジタル移動体衛星通信システムを開発、またその実現の鍵となるパンクチャド符号化誤り訂正方式を研究、その成果はインマルサット(当時の国際海事衛星通信機構)標準 B システムとして採用されました。このデジタル化により船舶地球局が大幅に小型化、多数の船舶に搭載される足がかりとなり、現在でも多様化したサービスの元、10 万隻以上の船舶が洋上からインマルサット経由で世界へとつながっています。

表彰式では AIAA 通信システム技術委員会委員長のトム・ブタッシュ博士より平田氏に表彰状およびブロンズメダルが授与されました。受賞に引き続き、平田氏から挨拶が行われ、衛星通信が通信のデジタル化の魁であったことが述べられ、また同氏の初めての国際学会発表が1972年4月にワシントン DC にて開催された第4回 AIAA ICSSC であったことが会場へ持参の当時の論文のコピーとともに示され好評を博しました。挨拶は今回の受賞が平田氏と共に研究開発に携わった皆へのものである旨感謝の言葉で締めくくられ、会場の喝采を集めました。

この賞は ICSSC の会議毎に衛星通信技術の開発と発展への世界的規模での貢献に対して授与される権威ある賞で、日本人としては1992年に NEC の関本忠弘氏が、また2002年に CRL の飯田尚志氏がそれぞれ受賞されたのに続く3人目の受賞となります。心からお祝い申し上げます。

添付

- 写真1: 会場にて(左から平田氏、ブタッシュ博士、ブーシュ宇宙飛行士キャプテン、2003 年度受賞のパンデ博士)
- 写真2: ブタッシュ博士と平田氏、受賞の壇上にて
- 写真3: 平田氏による受賞挨拶
- 写真4: 表彰状、メダルを持つ平田氏



写真1：会場にて（左から平田氏、ブタッシュ博士、ブーシュ宇宙飛行士キャプテン、パンデ博士）



写真2：ブタッシュ博士と平田氏、受賞の壇上にて



写真3：平田氏による受賞挨拶



写真4：表彰状、メダルを持つ平田氏